

郷土文化講演会

定員
90名

令和7年4月12日(土) 14:00~15:30
(13:30開場)

場所 子ども図書館2階大研修室(北九州市小倉北区城内4-1)

【演題】『火野葦平と中村哲』

～2人の生き方から現代社会をみる～

アフガニスタンで30年近く、灌漑用水路建設など民生支援活動に取り組み、2019年に凶弾に倒れた医師・中村哲。幼い頃、若松で暮らし、祖母から伝えられた教えが、その後の思想形成、活動の原点になった。洞海湾の労働現場で醸成された「困っている人は率先して助ける」という庶民のモラルだ。戦争に翻弄された伯父の作家、火野葦平(本名:玉井勝則)の生きざまにも大きな影響を受けた。

没後5年を機に、中村哲の従兄弟、火野葦平の甥として、玉井家の歴史、著作を紐解きながら、2人の生き方に迫る。

〈講師〉ギラヴァンツ北九州取締役会長

たまい ゆきと
玉井 行人 氏

〔プロフィール〕

西日本新聞社に35年間勤務し、社会部の事件記者を務める一方、八女市局長時代、地元八女市の歴史的町並み保存運動に関わり、都市景観・近代住宅に興味をもつ。大分大学が実施した若松区に残る和洋折衷の「洋館付加住宅」の現地調査に協力し、一昨年10月放映のNHK「ブラタモリ」北九州特集で紹介された。

北九州の経済界などからの要請を受け、2018年から、ギラヴァンツ北九州の代表取締役社長に就任し、2023年から取締役会長を務める。

サッカーの経験はゼロ。趣味は、書店・古書店めぐり。若松区在住。

申込方法

申込期間 4/3(木)10:00～

※定員に達し次第、受付を締め切ります

●本年度より 電話によるお申込みのみ 《先着90名》

※ 駐車場は、通常の図書館利用者のためのスペースしかありませんので、公共交通機関でのご来場にご協力をお願いいたします。お車で来館される場合は、近隣の有料駐車場をご利用ください。

お問合せ
申し込先

北九州市立中央図書館奉仕課

〒803-0813 北九州市小倉北区城内4-1

TEL (093) 571-1481 FAX (093) 571-1484

主催: 北九州市立中央図書館・小倉郷土会

